

とうしん美濃陶芸美術館について

とうしん美濃陶芸美術館は、地域文化の中心である美濃焼の魅力を保存・発信するために、東濃信用金庫が 2015 年に設立した美術館である。現代の美濃焼をより多くの人に紹介することを主な目的としている。入館料は無料となっている。

美濃地方で生産された陶磁器を指す「美濃焼」は、1300 年の歴史と発展を遂げてきました。現在、美濃焼といえば、16 世紀後半に生まれた「黄瀬戸」「志野」「瀬戸黒」「織部」などが有名だ。この（瀬戸を含む美濃）地域からは、現在まで 6 人の人間国宝を輩出するなど、陶芸文化が根付いており、彼らの作品の一部がこの美術館に展示されている。東濃信用金庫では、1986 年から地元の優れた陶磁器を収集し、当館のコレクションに加えている。

この美術館は、中央の庭園にある大王松を中心に設計されている。円形の展示室の中には 47 のケースがあり、コレクションの名作が季節ごとに展示されている。また、毎年特定の日には、茶室で美濃焼の茶碗に入った抹茶が無料で提供され、作品をより身近に体験することができる。